

S.E.N.S 養成カリキュラム シラバス (2018 年度版)

B. アセスメント

◇ 総論：アセスメント（3時間：1P）

【 概 要 】

LD、ADHD、ASD 等の「発達障害」について、乳幼児期から青年・成人期に至る困難領域の年齢的な変化と発達課題の概要をおさえた上で、その実態を捉えるためのアセスメントの意義と目的について述べる。ASD については心の理論についても説明する。アセスメントの倫理面についても述べる。

実態把握の方法として、行動観察、心理アセスメント、発達アセスメント、学力アセスメント、行動アセスメント、社会性のアセスメントなどについて述べる。

各領域のアセスメントから得られた情報を総合して、どのように指導プログラムへと結びつけていくかについて、SKAIP に関する導入的説明を含めて述べる。

【 キーワード 】

発達課題、生育歴、行動観察、発達アセスメント、心理（認知・記憶）アセスメント、学力アセスメント、SKAIP、アセスメントにおける倫理、個人情報の保護

【 到達目標と評価 】

- ①子どもの一般的な発達過程についてその概略を述べることができる。
- ②さまざまな発達障害のある子供の発達の变化・発達課題について述べるができる。
- ③アセスメントの意義と目的、アセスメントの領域、内容、方法について述べるができる。
- ④アセスメントと指導の関係について説明することができる。
- ⑤アセスメントをする際の留意点や倫理面について述べるができる。